

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成31年1月東北分
 (東北6県)」について

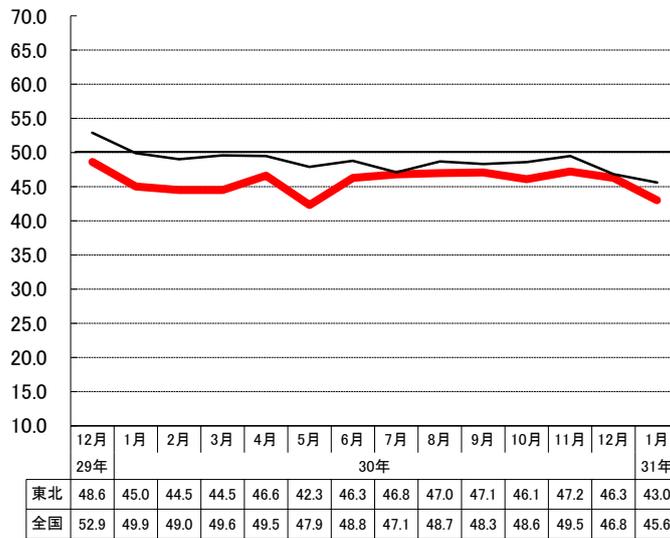
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成31年1月東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「43.0」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲3.3ポイントとやや下回った。

現状判断DIの推移

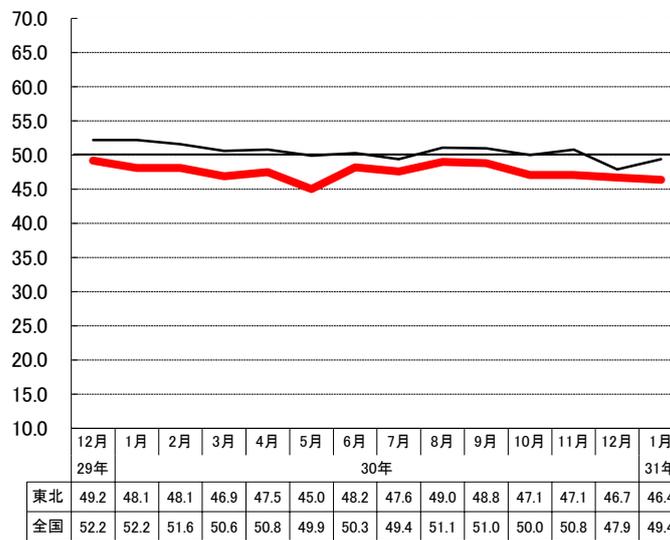


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断DIは「46.4」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.3ポイントとわずかに下回った。

先行き判断DIの推移



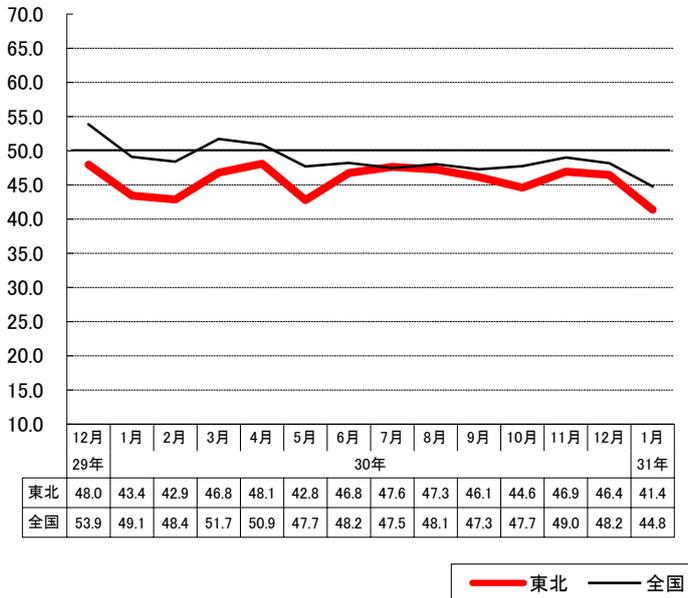
— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「41.4」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲5.0ポイントと大幅に下回った。

現状判断DIの推移



○家計動向関連…観光名所・遊園地・テーマパーク、乗用車販売店、旅行代理店の業種等でDIが前月を上回ったが、設計事務所、コンビニ、一般小売店の業種等でDIが前月を下回った。

DIは「39.3」(▲5.9)と3ヶ月ぶりに前月を下回った。

○企業動向関連…農林水産業、金融業、コピーサービス業の業種等でDIが前月を上回ったが、輸送業、電気機械器具製造業、広告代理店の業種等でDIが前月を下回った。

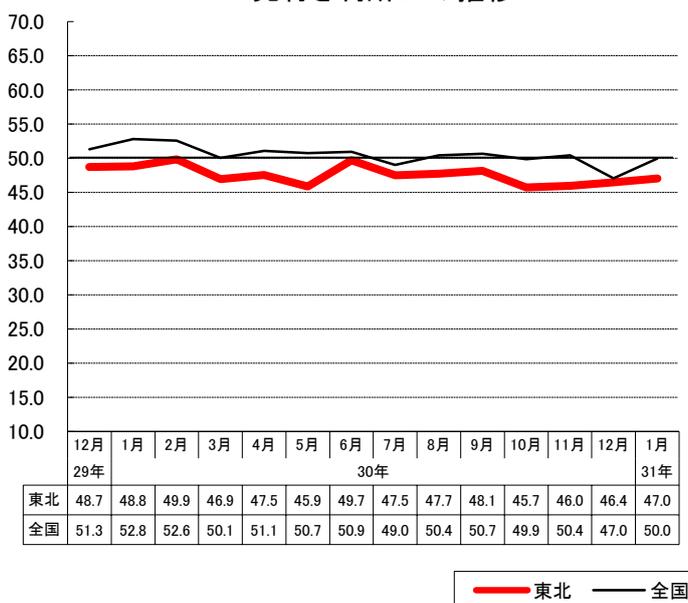
DIは「42.9」(▲3.7)と2ヶ月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(▲2.5)と、2ヶ月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月前の見通し、方向性)

先行き判断DIは「47.0」と3ヶ月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.6ポイントとわずかに上回った。

先行き判断DIの推移



○家計動向関連…家電量販店、美容室、スーパーの業種等でDIが前月を下回ったが、コンビニ、衣料品専門店、旅行代理店の業種等でDIが前月を上回った。

DIは「47.3」(+1.7)と2ヶ月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…食料品製造業、木材木製品製造業、広告代理店の業種等でDIが前月を上回ったが、輸送用機械器具製造業、金融業、司法書士・経営コンサルタントの業種等でDIが前月を下回った。

DIは「43.6」(▲1.7)と2ヶ月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(▲2.5)と、2ヶ月ぶりに前月を下回った。

<参 考>

■DIの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）DI

| | 29年 | 30年 | | | | | | | | | | | | 31年 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 東北現状 | 48.0 | 43.4 | 42.9 | 46.8 | 48.1 | 42.8 | 46.8 | 47.6 | 47.3 | 46.1 | 44.6 | 46.9 | 46.4 | 41.4 |
| 家計動向関連 | 46.4 | 42.0 | 40.9 | 45.7 | 47.4 | 40.1 | 46.3 | 46.7 | 47.7 | 44.7 | 42.3 | 44.7 | 45.2 | 39.3 |
| 企業動向関連 | 48.0 | 41.7 | 45.1 | 46.6 | 49.3 | 45.3 | 44.4 | 45.1 | 43.2 | 48.0 | 46.5 | 50.0 | 46.6 | 42.9 |
| 雇用関連(参考) | 57.9 | 55.0 | 50.0 | 53.9 | 50.0 | 53.9 | 54.2 | 57.9 | 52.6 | 51.3 | 55.0 | 55.0 | 53.8 | 51.3 |

（2）先行き判断DI

| | 29年 | 30年 | | | | | | | | | | | | 31年 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 東北先行き | 48.7 | 48.8 | 49.9 | 46.9 | 47.5 | 45.9 | 49.7 | 47.5 | 47.7 | 48.1 | 45.7 | 46.0 | 46.4 | 47.0 |
| 家計動向関連 | 47.2 | 48.9 | 50.9 | 46.8 | 46.8 | 43.9 | 50.2 | 46.3 | 46.6 | 47.0 | 45.0 | 44.9 | 45.6 | 47.3 |
| 企業動向関連 | 50.0 | 45.1 | 45.8 | 45.9 | 47.9 | 46.6 | 47.2 | 48.6 | 49.3 | 50.7 | 45.8 | 48.6 | 45.3 | 43.6 |
| 雇用関連(参考) | 55.3 | 55.0 | 51.3 | 50.0 | 51.3 | 56.6 | 51.4 | 52.6 | 51.3 | 50.0 | 50.0 | 47.5 | 53.8 | 51.3 |

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成31年1月25日～31日

回答者数 177/189名、回答率93.7%（全国1,860/2,050名、90.7%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…客からは、消費税の引上げ前にという声が聞こえ始めている。販売台数も新車、中古車共に前年を上回っており、特に高額車の動きに顕著な伸びがみられている。

（タクシー運転手）…例年、1月は天候が荒れない限り乗客数は伸びないものだが、今年は穏やかな天候でも乗客数が伸びている。

（観光名所）…インバウンド客を中心に来客数が伸びている。団体予約以外の客も、JRの乗り放題などを利用してインバウンド客を中心に多くなっている。

（建設業）…大型工事の入札結果が複数確認できており、各社の受注量が伸びている様子である。

（金融業）…出荷量が安定しているりんごのほか、2018年産米の相対取引価格が例年と比較して好調に推移している。また、地元漁港の水揚げ額も、良型サバの好調により前年を上回るなど一次産業が地場経済をけん引している。

（人材派遣会社）…求人数の伸び幅は以前と比較して落ち着いてきているが、求職者数は継続して増加傾向にある。現時点において問題点はなく、景気は良くなっている。

○「変わらない」

（商店街）…穏やかに始まった新年であり、初売りも来街客に比較的恵まれている。しかし、潤った飲食店やファーストフード店と比較して、中小物販店は同様の状況には至っていない。今年初売りと同時にセールが開始されたが、いかななものかとの声も聞こえている。さらに、その後は中だるみや落ち込みがみられており、商店街全体としては注視せざるを得ない状況である。

（百貨店）…初売りの福袋や冬物クリアランスセールなど、毎年同じような内容の商品には客も飛びつかなくなってきたおり、モノよりコトにシフトしてきている。ただし、景気の動きとしては余り変化はみられていない。

（スーパー）…前年比は、来客数99%、売上97%と、ここ半年間と同様の結果である。競合環境は厳しく、買い回りによる買上点数の減少が続いている。また、暖冬の影響により、生鮮部門を中心に鍋物商材の不振、葉物野菜の価格下落による売上の落ち込みも大きい。

（家電量販店）…生活必需品ということでエアコンなどの暖房商材は売れているが、趣味し好の側面が強い高額なテレビ関係は伸びていない。

（ガソリンスタンド）…灯油の前年比が90%、軽油の前年比が80%と、暖冬の影響により販売量の前年割れが続いている。ただし、大きな値段の崩れがないため、収益はそれなりに確保できている。

（ショッピングセンター）…初売りの福袋は減少しているものの、平均単価は上がってきている。また、来客数の動きは通常と変わらずに推移している。

（都市型ホテル）…冬になると売上は減少していくが、今年は雪が少なく天候もやや良かったことから、思っていたよりも減少幅が少ない状態である。

（通信会社）…1月後半から下降気味となっている。企業の様子見が増え、営業も抑えられている。米中の貿易摩擦に巻き込まれないよう、東南アジアやアフリカ諸国への進出を模索している企業もある。また、通信業界も低迷しており状況に変化はない。

（農林水産業）…平成30年産の米は天候不順により収穫量が大幅に減少している。共済組合による共済金の支払が期待されたものの、該当条件が厳しく期待外れに終わっている。

（広告代理店）…製紙メーカーの印刷用紙製造減少により、用紙不足が発生している。さらに、値上げにより利益率も悪化しており、価格に転嫁できない辛さを実感している。

(コピーサービス業) …仕入れ商品及び配送費の値上げ通知がたびたび届いており、販売価格に転嫁できるか微妙である。メインの仕入先ではないものの、他にも追従する会社が多く出てくるのではないかと不安である。

(新聞社〔求人広告〕) …企業には人手不足や復興需要の縮小などの懸念材料があり、伸び悩んでいる。

(職業安定所) …地元大手の菓子製造販売会社の民事再生法の申請や、県外の飲食チェーン店の不振による県内2店舗閉鎖など、一部の企業において業績不振による雇用調整がみられるものの、全体的には求人件数、求人数の増加及び求職者の減少傾向がみられている。

○「やや悪くなっている」

(コンビニ) …1月の来客数は、前年比で3ポイント落ち込んでいる。特に朝の来客数減少が続いており、カウンターコーヒーやパック飲料などの売上が減少している。

(衣料品専門店) …来客数は余り落ち込んでいないものの、客単価、買上点数共に減少している。処分価格の商品ばかりが動いており、粗利も落としている。

(一般レストラン) …今月はインフルエンザの流行が受験シーズンと重なり、慎重になっているのか、外出が控え目になっている。そのため、雪が少なく動きやすい環境にもかかわらず、人の動きが鈍くなっている。

(観光型旅館) …全体的に景気が悪く、申込みや問合せ自体が少ない。前年よりも宿泊単価を上げた影響が出ている可能性がある。

(旅行代理店) …国内個人旅行が前年を上回っているものの、国内団体旅行の動きが悪く、足を引っ張っている状態である。

(設計事務所) …これまでは他社の動向を気にする必要がないうらいに忙しかったが、最近では受注の状況や取扱案件について他社から聞かれることが増えている。そろそろ手持ちの案件や今後の受注予定が少なくなってきたのではないかと。

(リフォーム業) …リフォーム工事の受注が増えず、給湯器などの設備工事も増加していない。

(電気機械器具製造業) …在庫調整による受注量の動きが大きな要因の一つになっている。

(輸送業) …荷主の生産量減少の影響が出始めている。

○「悪くなっている」

(医薬品販売店) …繁華街にもかかわらず、新年会で飲み歩く人の数が非常に少ない。また、インフルエンザが大流行しているが、皆が病院へ行くため風邪薬を購入する客も少なく、前年と比較して売上が10%減少している。

(住関連専門店) …初売りなどを企画していない当店は売上に苦慮している。カタログ販売に動きはあるものの、納品は2月のため1月の売上には結び付いていない。

(高級レストラン) …来客数の減少が著しい。土日祝日に入る祝い事などは余り減ってはいないが、企業の動きが非常に悪く、その分の埋め合わせもない状態である。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(コンビニ) …中食の強化やカウンターフーズの各種施策を含め、QSCのなかでも特にクオリティを高めることで、全体売上が向上させる取組を強化しており、その効果が徐々に出てきている。

(乗用車販売店) …納期に時間が掛かる新車もあることから、消費税の引上げ前の駆け込み需要としての受注が、今後更に期待できる見込みである。

(旅行代理店) …4～5月の大型連休に向け、消費動向が一時的に拡大するとみている。

(広告業協会) …新元号発表を機に、一気に広告需要も高まると見込んでいるが、一時的なものとみている。

(人材派遣会社) …年度末にかけて、CMや企業広告、社内キャンペーンなど露出を高めて登録者増加策に注力する。これは近年実行できなかった施策であり、効果を期待している。

○「変わらない」

(百貨店) …3か月先に大きく景気変動する要因は見当たらない。ただし、4～5月の新元号を機に、消費喚起に結び付けていくような仕掛けをしておくことで、多少は上昇するとみている。

(スーパー) …今年10月に予定されている消費税の引上げに伴い、小売業ではシステム変更などの多大な出費が必要とされる。業績が伸びないなか、企業経営はますます厳しくなる見込みである。

(衣料品専門店) …フレッシュイズなど、目的買いの要素が強いニーズは安定した動きが見込めるものの、カジュアル衣料については春物の立ち上がりが読みづらく、見通しは不透明である。

(一般レストラン) …この先は歓送迎会シーズンを控えているため、現在よりは人の動きが活発になるとみている。ただし、個人の動きは別であり、財布のひもは固くなっていく一方である。新生活の準備に掛かる費用も多いため、飲食に回る費用は少なくなるとみている。

(観光型ホテル) …3～4月は、10連休となるゴールデンウィークを控えて人の動きが鈍るとみている。そのため、今月同様に景気は余り良くない見込みである。

(美容室) …客単価は横ばいであり、再来店の間隔にも変化がない。消費者の先を見越した節約志向が続くとみている。

(食料品製造業) …土産物を購入するような他県からの観光客が増加するイベントがないため、状況は変わらないとみている。

(木材木製品製造業) …例年需要が落ち込む時期ではあるが、消費税の引上げ前の駆け込み需要が多少見込める。堅調とまではいえないものの、例年よりは落ち込みが少ないとみている。

(職業安定所) …人手不足感の強い事業所が多くみられるが、会社が求める専門職などの人材は求職者のスキルとのミスマッチが発生しており、充足するケースは少ない。

○「やや悪くなる」

(家電量販店) …暖冬の影響で暖房商材が余り売れず、前年比で10%ほど減少している。4K放送は期待値よりも人気がなく、チューナーや4Kテレビにも余り関心を得られていない。今後は前年の猛暑のような追い風がない限り、先行きはやや厳しくなるとみている。

(出版・印刷・同関連産業) …印刷用紙が約20%の値上げとなる予定である。値上がり分を取引先にスムーズに転嫁することはなかなか難しく、業績は悪化する見込みである。

(窯業・土石製品製造業) …今後は一部地域の特需が終了又は減少する見込みである。

(輸送用機械器具製造業) …米中の貿易摩擦により、中小企業が段階的に影響を受けることを懸念している。

(建設業) …年度の替わり目のため、公共工事の受発注が落ち込むとみている。

(金融業) …天候が荒れやすくなる時期である。特に北国は、一般消費者の購買意欲の増減や、建物建築などの工事進捗に対して天候が相応の影響を与えている。

(新聞社〔求人広告〕) …現在の先行き不安は元号が変わるまで続くとみている。ただし、新天皇即位のお祝いムードと、消費税の引上げ前の駆け込み需要が上乘せになれば、消費拡大に結び付く可能性がある。求人を手控えている企業主からもそのような声が聞こえている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上